

【背景・目的】

- 高齡化の進展や、地域医療構想による病床の機能分化・連携により、今後増大する慢性期の医療ニーズに対応するためには、地域の医療資源を踏まえた医療機関間の適切な役割分担により、在宅医療の提供体制を整備していくことが求められている。
 - そこで、地域で有効に機能している在宅医療連携モデルの実態を把握し、全国に情報提供することで、各地域がその地域に合った在宅医療連携体制を構築できるよう支援する。
- (※) 在宅医療連携モデルとは、地域の複数の医療機関が、一定のルールのもとに連携・役割分担をし、地域の在宅医療患者の診療に対応しているモデルをいう。

【事業概要】

- 調査対象：特に在宅医療を中心となって取り組む病院・診療所を含む14地域（右記）
- 調査方法：文献・ヒアリング・アンケート等
- 調査内容：連携モデル構築に至るまでの経緯や、連携モデルの概況・スキーム、役割分担の詳細。各医療機関が担う具体的な患者数等の業務実態、役割分担等。
- 調査結果：事例集としてとりまとめ
- 報告書を厚生労働省ホームページのサイト「在宅医療の推進について」に掲載（下記）し、都道府県へ事務連絡で周知 <https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000341065.pdf>

No	所在地	団体名
1	岩手県 釜石市	釜石医師会
2	山形県 鶴岡市	鶴岡地区医師会
3	栃木県 下都賀郡 壬生町	みぶの会、栃木県医師会
4	東京都 板橋区	板橋区医師会
5	千葉県 柏市	柏市、柏市医師会
6	神奈川県 横浜市 青葉区	横浜市青葉区医師会
7	神奈川県 横須賀市	横須賀市医師会
8	新潟県 長岡市	長岡市医師会
9	福井県 坂井市、あわら市	坂井地区医師会
10	長野県 駒ヶ根市	駒ヶ根市
11	静岡県 静岡市	静岡市静岡医師会
12	福岡県 福岡市 南区	福岡市医師会、福岡市南区医師会
13	長崎県 長崎市	長崎在宅Dr.ネット
14	大分県 臼杵市	臼杵市医師会立コスモス病院